

第7回世界躰道選手権大会イベント公式案内



2017 YAMANASHI WORLD TAIDO CHAMPIONSHIP

Date: 2017年2月
To: 世界躰道連盟
From: 世界躰道選手権大会実行委員会

躰道を愛する皆様へ

第7回世界躰道選手権大会・第13回国際躰道親善大会の公式案内です。
世界各国からのご参加を心よりお待ちしております。
また、各国躰道協会へのご連絡をお願い致します。

世界中の躰士が富士山を望む山梨でご活躍されることを楽しみにしております。

世界大会実行委員長
板山 宜弘(いたやま よしひろ)

公式HP: <http://world-taido.com>



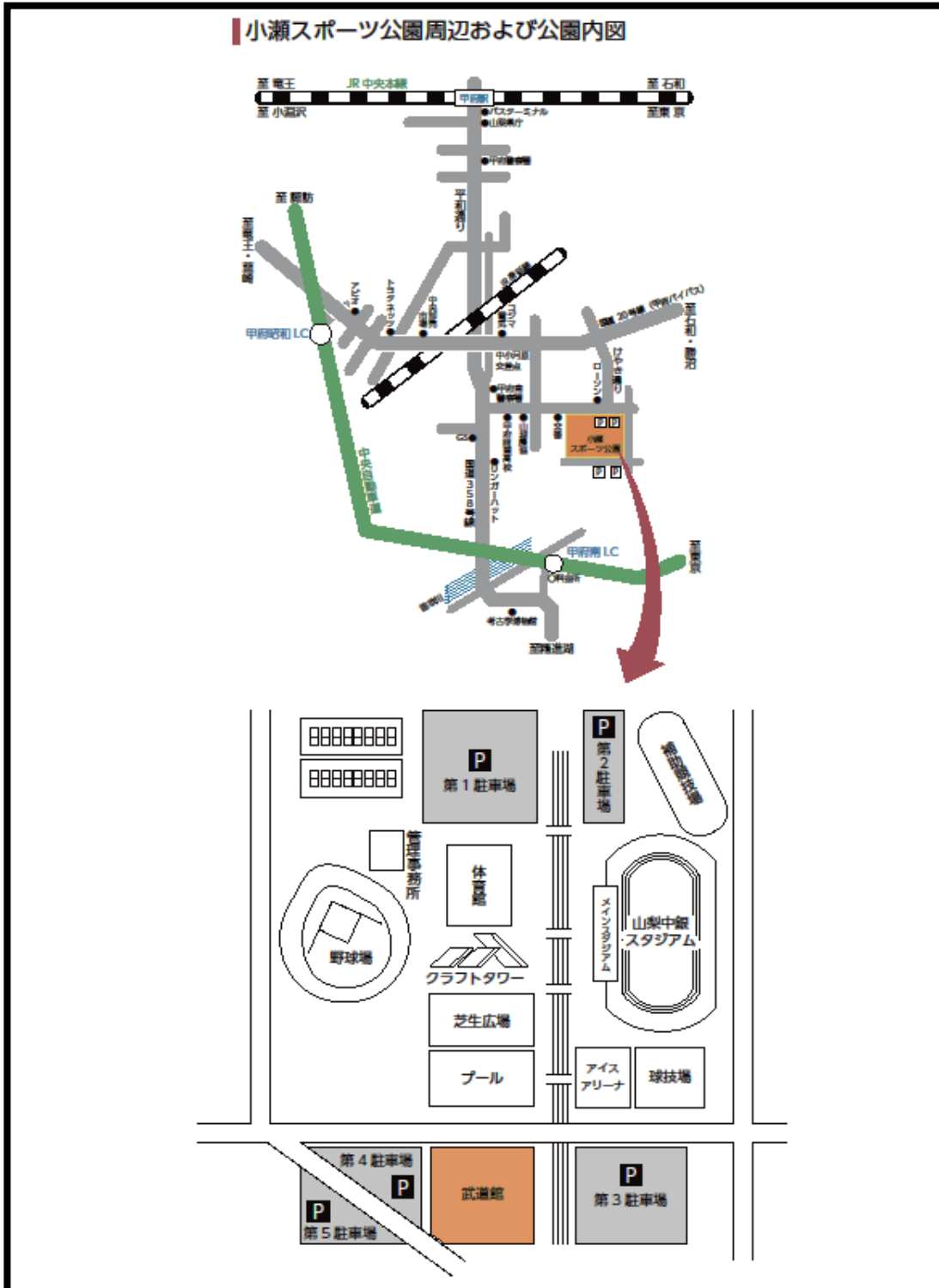
世界剣道選手権イベントスケジュール(仮)

| 日 | イベント | 場所 | 備考 |
|-------------|-------------------------------------|------------------------------|----|
| 7/25 (火) | 練習 | 小瀬スポーツ公園武道館 第2武道場 | |
| 7/26 (水) | 練習 | 小瀬スポーツ公園武道館 第2武道場 | |
| 7/27 (木) | 国際セミナー 審査 世剣連会議 | 小瀬スポーツ公園武道館 第2武道場 会議室 | |
| 7/28 (金) | 国際セミナー 審査 キッズセミナー | 小瀬スポーツ公園武道館 第2武道場 アリーナ | |
| 7/29 (土) | 国際剣道親善大会 | 小瀬スポーツ公園武道館 アリーナ | |
| 7/30 (日) | 世界剣道選手権 | 小瀬スポーツ公園武道館 アリーナ | |
| | 懇親会 剣道MASTURI | ジットプラザ甲府 | |
| 7/31 (月) | 世界指導者審判打合せ オプションツアー 山梨県展開セミナー | 会議室 第2武道場 | |

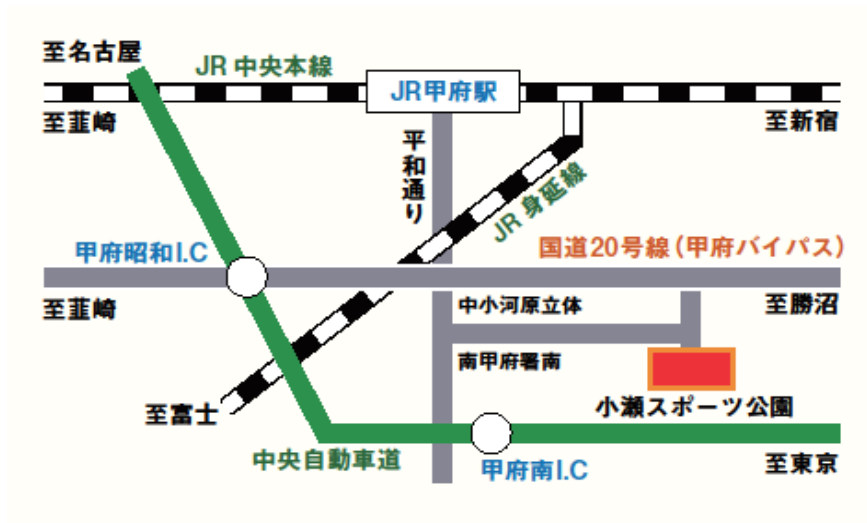


アクセス

- **小瀬スポーツ公園(大会会場)** 〒400-0836 山梨県甲府市小瀬町840 TEL 055-243-3111
- 【路線バス】
甲府駅前南口より山梨交通バス(定期:8番乗り場)「小瀬スポーツ公園行き」路線バスにて約30分
- 【タクシー】
甲府駅南口よりタクシーにて約20分
- 【お車】
中央道甲府南I・Cより約15分。甲府昭和I・Cより約15分



スタジアム周辺地図



駐車場

小瀬スポーツ公園駐車場

| 駐車場 | 普通車 | 大型車 | 内身障者 |
|-------|------|-----|------|
| 第1駐車場 | 471 | 34 | 16 |
| 第2駐車場 | 264 | - | 15 |
| 第3駐車場 | 840 | 59 | - |
| 第4駐車場 | 294 | - | 5 |
| 第5駐車場 | 219 | - | - |
| 合計 | 2088 | 93 | 36 |

■ ジット甲府プラザ(懇親会会場) 〒400-0042 山梨県甲府市高畑2-19-2 TEL 055-221-8100
 【無料駐車場】普通自動車300台

| | | | |
|--------|---------|--------|--------|
| 国内: 一般 | 10,000円 | 海外: 一般 | 8,000円 |
| 高校生大学生 | 8,000円 | 高校生大学生 | 6,000円 |
| 中学生以下 | 4,000円 | 中学生以下 | 4,000円 |

第13回 国際躰道親善大会

国際躰道親善大会競技種目

(競技は変更する可能性があります)

| 競技名 | 年齢規定 | 段級位規定 | |
|------------|-----------|--------|----------------------|
| B1 男子個人法形 | ≤2001 | 2級以上 | 体・陰より選択 |
| B2 女子個人法形 | ≤2001 | 2級以上 | 体・陰より選択 |
| B3 男子個人実戦 | ≤2001 | 2級以上 | 時間: 予選決勝1分30秒 |
| B4 女子個人実戦 | ≤2001 | 2級以上 | 時間: 予選決勝1分30秒 |
| B5 男子個人法形 | ≤2001 | 3~6級 | 体・陰より選択 |
| B6 女子個人法形 | ≤2001 | 3~6級 | 体・陰より選択 |
| B7 男子個人実戦 | ≤2001 | 3~6級 | 時間: 予選決勝1分30秒 |
| B8 女子個人実戦 | ≤2001 | 3~6級 | 時間: 予選決勝1分30秒 |
| B9 制の法形 | ≤2001 | 6級以上 | 天制・地制・仁制より選択 |
| B10 命の法形 | ≤2001 | 6級以上 | 勢命(表のみ)活命・延命より選択 |
| B11 男子壮年実戦 | ≤1977 | 2級以上 | 時間: 予選決勝1分 |
| B12 少年法形 | 2002-2004 | 規定なし | 体・陰より選択 |
| B13 少女法形 | 2002-2004 | 規定なし | 体・陰より選択 |
| B14 少年法形 | 2005-2007 | 規定なし | 体・陰より選択 |
| B15 少女法形 | 2005-2007 | 規定なし | 体・陰より選択 |
| B16 少年法形 | 2008-2010 | 規定なし | 体・陰より選択 |
| B17 少女法形 | 2008-2010 | 規定なし | 体・陰より選択 |
| B18 少年実戦 | 2002-2004 | 上階4級以上 | 時間: 予選決勝1分30秒 |
| B19 少女実戦 | 2002-2004 | 上階4級以上 | 時間: 予選決勝1分30秒 |
| B20 少年実戦 | 2005-2007 | 中階4級以上 | 時間: 予選決勝1分30秒 |
| B21 少女実戦 | 2005-2007 | 中階4級以上 | 時間: 予選決勝1分30秒 |
| B22 団体法形 | ≤2001 | 規定なし | 5人1組。体・陰より選択 男女混合 |

| | | | | |
|-----|----------|-----------|------|----------------------------|
| B23 | 男子団体実戦 | ≤2001 | 2級以上 | 5人1組。競技監督1人 |
| B24 | 女子団体実戦 | ≤2001 | 2級以上 | 5人1組。競技監督1人 |
| B25 | 展開 | ≤2001 | 規定なし | 6人1組。男子4名以上 |
| B26 | 女子展開 | ≤2001 | 規定なし | 6人1組。女子のみ |
| B27 | 少年少女団体法形 | 2002-2010 | 規定なし | 5人1組。男女混合 |
| B28 | 少年団体実戦 | 2002-2007 | 規定なし | 5人1組。競技監督1人 中学生2人。小学生3人 |
| B29 | 少女団体実戦 | 2002-2007 | 規定なし | 3人1組。競技監督1人 中学生1人、小学生2人 |
| B30 | 少年少女展開 | 2002-2010 | 規定なし | 6人1組。男女混合 |

国際剣道親善大会出場資格と制限

- ・ 競技出場者は世界剣道連盟加盟の各国剣道協会に所属する会員であること。
- ・ 世界剣道選手権大会に出場する選手は、国際親善大会に参加してはならない。
- ・ チームは、同じ国の選手で構成を基本とするが、混成チームも可とする。
- ・ 原則、団体実戦チームは5名1組とするが、3名よりエントリー可。
- ・ 出場者があまりにも少ない、または多い場合、実行委員会により競技構成が変更される場合がある。その際は、各国剣道協会に通知し、該当選手のみ期限を設けて追加申込を受け付ける。
- ・ 日本剣道協会員の選手に限り、ひとり2種目+展開までとする。

国際剣道親善大会補欠について

- 以下の規定を満たす場合、団体競技における補欠出場を許可する
- ・ 競技者が病気、怪我、その他の理由で競技を続行不可能の場合のみ、次の試合より登録した補欠選手と入れ替えてよい。(補欠登録は1チーム1名のみ。出場費不要)
 - ・ 選手変更の前には必ず競技本部に報告し、許可を得なければならない。
 - ・ 選手変更された場合は、復帰できる状態になっても、同じ競技に復帰することはできない。
 - ・ ドクターストップがあった場合は、その選手はすべての競技に参加不可となる。

国際剣道親善大会実戦競技規定

- ・ 実戦競技に出場するすべての選手は、原則として規定の胴プロテクターの着用を義務付ける。
 - ・ 段位男子選手と段位女子選手の面ピットの着用は認められており、着用は任意とする。
 - ・ 級位選手と少年少女選手は、規定の面ピットの着用を義務付ける。
規定の防具についての詳細は、世界剣道連盟に問い合わせのこと。
 - ・ 予選では実戦の延長戦は行わないが、決勝戦と3決において必要な場合のみ1回行うこととする。
延長戦で有効技や注意等が無い場合、審判員が総合的に判断し優劣を判定する。
- ※ プロテクターを着用をしない場合は、所属する各国剣道協会を通して別途書類の提出が必要になります。

出場費: 6,000円 ≤2001
 5,000円 ≥2002

第7回 世界躰道選手権大会

世界躰道選手権大会出場規定について

人数規定

- ・ 個人種目：各国6名まで
- ・ 団体種目：各国2チームまで

年齢制限

- ・ 実戦種目： ≤ 1999
- ・ 法形・展開競技： ≤ 2001

世界躰道選手権大会競技種目

| 競技名 | 年齢規定 | 段級位規定 | 備考 |
|-----------|-------------|-------|-----------------------------|
| A1 男子個人法形 | ≤ 2001 | 初段以上 | 体・陰より選択 |
| A2 女子個人法形 | ≤ 2001 | 初段以上 | 体・陰より選択 |
| A3 男子個人実戦 | ≤ 1999 | 初段以上 | 時間：予選2分 決勝3分 |
| A4 女子個人実戦 | ≤ 1999 | 初段以上 | 時間：予選2分 決勝3分 |
| A5 男子団体系形 | ≤ 2001 | 初段以上 | 5人1組 体・陰より選択 |
| A6 女子団体系形 | ≤ 2001 | 初段以上 | 5人1組 体・陰より選択 |
| A7 男子団体実戦 | ≤ 1999 | 初段以上 | 5人1組。競技監督1人 時間：予選2分 決勝2分 |
| A8 女子団体実戦 | ≤ 1999 | 初段以上 | 5人1組。競技監督1人 時間：予選2分 決勝2分 |
| A9 展開 | ≤ 2001 | 初段以上 | 6人1組 男子4名以上 |
| A10 女子展開 | ≤ 2001 | 初段以上 | 6人1組 女子のみ |

世界躰道選手権大会その他規定

- ・ 原則、初段以上のみの参加とする。実戦競技は1999年以前、法形・展開競技は2001年以前に生まれた者のみの参加とする。ただし、段位条件に満たない選手でも、その国の躰道協会が、推薦状を選手申込書と合わせて日本躰道協会 (office@taido.jp) に送り世界躰道連盟でその選手の参加許可が審議される。
- ・ 原則、団体実戦チームは5人1組とするが、3名からエントリー可能となる。

世界選手権大会出場資格と制限

- ・ 競技出場者は世界剣道連盟加盟の各国剣道協会に所属する会員であること。
- ・ 原則、各国代表選手はその国の国籍を持っていないといけない。
ただし、その国の国籍を持っていない場合でも、その国の剣道協会会員であれば世界剣道連盟として参加を審議する。
尚、その代表選手がその国の剣道協会へ所属してる、
または、していた期間が前回大会以降に2年以上を必要とする。
- ・ 2カ国間もしくはそれ以上で問題が発生した場合は、世界剣道連盟が仲介に入る。
- ・ 出場制限：個人の出場種目数に制限はない。

世界選手権対明実戦競技規定

- ・ 実戦競技に出場するすべての選手は、原則として規定の胴プロテクターの着用を義務付ける。
また、男子女子選手ともに面ピットの着用は認められており、着用は任意とする。
規定の防具についての詳細は、世界剣道連盟に問い合わせのこと。
 - ・ 予選では実戦の延長戦は行わないが、決勝戦と3決において必要な場合のみ2回行うこととする。
2回目の延長戦でも有効技や注意等が無い場合は、審判員が総合的に判断し優劣を判定する。
- ※ プロテクターを着用をしない場合は、所属する各国剣道協会を通して別途書類の提出が必要になります。

世界選手権大会補欠について

- 以下の規定を満たす場合、団体競技における補欠出場を許可する
- ・ 競技者が病気、怪我、その他の理由で競技を続行不可能の場合のみ、次の試合より登録した補欠選手と入れ替えてよい。(補欠登録は1チーム1名のみ。出場費不要)
 - ・ 選手変更の前には必ず競技本部に報告し、許可を得なければならない。
 - ・ 選手変更された場合は、復帰できる状態になっても、同じ競技に復帰することはできない。
 - ・ ドクターストップがあった場合は、その選手はすべての競技に参加不可となる。

出場費：8,000円

審判規定

世界躰道選手権大会及び国際躰道親善大会の審判員について

- ・ 日本武藝躰道本院「公認審判員」に審判を依頼し「審判規定」に沿って各競技の判定を行う。
原則、4段以上かつ審判経験の豊富なものとする。
- ・ 審判員は競技には出場できない。
- ・ 審判の申し込みは各国まとめて選手申し込みと共にを行う。
- ・ 審判団の決定は、日本武藝躰道本院が行う。その際、審判実力・経験そして各国審判員数が考慮される。

保険

世界躰道選手権大会及び躰道国際親善大会の保険について

- ・ すべての出場選手は、海外での躰道競技中の事故を補償する保険に、個人もしくは各国躰道協会に加入しなければならない。
- ・ 大会では、日本躰道協会が医師と応急治療チームを用意する。
応急処置以上の治療が必要となった場合、病院、保険会社と各人やりとりし自己責任となる。

その他

- ・ すべての出場選手は、肖像権の管理・運用を世界躰道連盟に委託するものとする。
また、世界躰道連盟はこれらの肖像権を躰道または選手の価値向上のためにのみ使用する。